

(関係部門へご回覧下さい)

市場リスクの計量化と管理手法

～市場リスク計測の基本から、最新のリスク管理に関する話題 (OIS カーブ、CVA、FRTB、IRRBB) までを幅広く解説～

金融危機を契機に、BIS 規制の見直しが行われ、将来的に、新たな規制要件の下で市場リスク計測を行うことが求められることになり、従来以上に、市場リスク管理に対する関心が高まっています。また、欧州の保険会社を対象としたソルベンシーII でも VaR (バリュー・アット・リスク) の考え方が採用されています。

本コースでは、市場リスクの基本的な考え方や VaR の算出方法の解説を行うとともに、担保付デリバティブ等の評価に用いられる OIS カーブ、CVA (信用評価調整) や、パーゼル銀行監督委員会から公表されている FRTB (トレーディング勘定の抜本的見直し) や IRRBB (バンキング勘定における金利リスク) 等の最近のトピックについても解説します。

- 対象者：・金融機関のリスク統括部門、企画部門、融資・審査・資産査定部門、市場部門、事務・システム部門、営業部門、監査部門等における管理者及びご担当者。
・関連するシステム開発に携わる金融機関関連会社やベンダーの方。

期 日：2018年7月19日 (木)・20日 (金) 2日間

会 場：ニッキンホール (東京・市ヶ谷)

企画・監修・講師：

(敬称略)

有限責任監査法人トーマツ

ディレクター

ディレクター

久 永 健 生

小 山 敦 史

主 催： **CMC**

<http://www.nikken.co.jp/cmc/>

※上記CMCサイトから Web での申し込みも出来ます

- 後 援：一般社団法人 全国地方銀行協会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 全国信用金庫協会
一般社団法人 全国信用組合中央協会

☆開催趣旨

市場リスク管理においてVaR（バリュー・アット・リスク）が一般的になってきています。そして、「トレーディング勘定の抜本的見直し（FRTB）」に関する最終規則文書（バーゼル銀行監督委員会）では、将来的に、新たな規制要件の下で市場リスク計測を行うことが求められており、そこでは、基本的な考え方はVaRに似ているもののリスク量の表現方法が異なるES（期待ショートフォール）を用いることが求められています。また、VaRの考え方は、市場リスクのみならず、信用リスクやオペレーショナルリスク等他のリスクの計量化にも応用されています。さらに、欧州の保険会社を対象としたソルベンシーIIでも、VaRの考え方が採用されています。

このように、VaRは金融機関等のリスク管理において一般的になってきており、リスク管理担当者はもちろん、内部監査部門等の方にとっても、VaR等に関する知識は必要不可欠なものとなってきています。しかし、ややもすると、VaRの計測結果（値）だけが着目され、その基本的な考え方、算出の前提、限界や弱点等に対する理解が疎かになっていることもあるのではないのでしょうか。本コースの目的は、市場リスク管理の基本的な考え方やVaRの算出方法等について、その基本的な部分から理解を深めてもらうことにあります。

さらに、昨今特に関心が高まっているいくつかの話題、具体的には、担保付デリバティブ等の評価に用いられるOISカーブ、デリバティブ等に対するカウンターパーティリスクに関連するCVA、FRTB（トレーディング勘定の抜本的見直し）やIRRBB（バンキング勘定における金利リスク）の考え方について解説します。

☆研修の対象

金融機関のリスク統括部門、企画部門、融資・審査・資産査定部門、市場部門、事務・システム部門、営業部門、監査部門等における管理者及びご担当者。

関連するシステム開発に携わる金融機関関連会社やメーカー・ベンダーの方。

☆開催要綱

日時： 2018年7月19日（木）、20日（金） 2日間

時間： 1日目 10:30～17:00（10:00受付開始）

2日目 9:30～16:00（9:00受付開始）

企画・監修・講師： 有限責任監査法人 トーマツ

ディレクター

久永 健生 氏

ディレクター

小山 敦史 氏

会場： ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料： CMC会員価格 62,640円（本体価格 58,000円）

後援協会会員価格 66,960円（本体価格 62,000円）

一般価格 71,280円（本体価格 66,000円）

<2日間とも昼食はこちらで用意いたします>

定員： 40名（最少開催人員10名）

<講師の紹介>

久永 健生 氏（有限責任監査法人トーマツ ディレクター）

東京大学（理学部）卒業、東京大学大学院（数理科学研究科）及びコロロンビア大学大学院（Master of Arts）修了。都市銀行にて、リスク管理業務、モデル研究開発業務、デリバティブ・ハウス派遣等の後、大手監査法人系コンサルティング会社を経て、07年に有限責任監査法人トーマツ入社。銀行、保険、証券等の金融機関に対して、リスク管理モデルや時価評価モデルの検証業務やリスク管理高度化支援業務を実施している。主な著書（共著）は『バーゼルII対応のすべて』（金融財政事情研究会、08年3月）。

小山 敦史 氏（有限責任監査法人トーマツ ディレクター）

東京工業大学（理学部）卒業、東京工業大学大学院（情報理工学研究科）修士課程修了。都市銀行にてデリバティブ業務、証券化業務に従事し、03年に有限責任監査法人トーマツ入社。銀行、保険、証券等の金融機関に対して、金融商品の監査業務、リスク管理モデルや時価評価モデルの検証業務、リスク管理高度化支援業務を実施している。

市場リスクの計量化と管理手法 カリキュラム

(1日目) 7月19日(木)

10:30~17:00 <10:00 受付開始>

1. 市場リスク管理の概要

- 1.1 リスク管理の意義
- 1.2 市場リスク管理の実務

2. 金融商品の評価

- 2.1 金利の基礎概念
連続複利とは
ゼロレート
フォワードレート 他
- 2.2 金利スワップの評価
金利スワップとは
固定サイドの評価
変動サイドの評価—FRN法
変動サイドの評価—フォーキャスト法
スワップレート 他
- 2.3 オプションの評価
ペイオフ関数
二項モデル
ブラックショールズモデル 他

3. リスク指標の算出

- 3.1 イールドカーブの構築
イールドカーブ
イールドカーブの構築方法 他
- 3.2 センシティブリティ(感応度)とは
センシティブリティの概念
センシティブリティと損益 他
- 3.3 BPV、GPSの算出
金利のリスクファクターの考え方
BPVの算出
GPSの算出 他
- 3.4 オプション Greeks の算出
オプションセンシティブリティ
センシティブリティの計算 他
- 3.5 リスク指標による損益近似
GPSと損益の関係
オプション Greeks と損益の関係 他

(2日目) 7月20日(金)

9:30~16:00 <9:00 受付開始>

4. VaRの計測

- 4.1 VaRとは
センシティブリティによるリスク管理
VaRの概念、イメージ
VaRの計測方法 他
- 4.2 分散共分散法によるVaRの計測
正規分布について
リスクファクターが1つの場合
リスクファクターが複数の場合 他
- 4.3 その他の手法(ヒストリカル法、モンテカルロ法)によるVaRの計測
ヒストリカル法
モンテカルロ法
長期の保有期間のVaRの計測 他

5. VaRの検証と補完

- 5.1 VaRの検証について
VaRの検証の必要性 他
- 5.2 バックテスト
バックテストの考え方
二項検定
VaRのバックテスト 他
- 5.3 前提条件の検証
正規性の検証
独立性の検証
- 5.4 ストレステスト
ストレステストの実施方法 他

6. 市場リスクに関連する話題

- 6.1 OISカーブ
- 6.2 カウンターパーティリスクとCVA
- 6.3 FRTB(期待ショートフォール)
- 6.4 IRRBB(バンキング勘定における金利リスク)

(質疑応答)

※2日間とも昼食はこちらで用意いたします。

FAX 03-3261-4570 CMC事務局まで

28

第80回 金融機関 内部管理コース
「市場リスクの計量化と管理手法」

ホームページ用受講申込書 (2018年7月19日・20日開講)

貴社名

所在地
〒

TEL

FAX

Eメール

受付番号	参加者氏名	所属 (部・課・グループ)	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

受講料 A : CMC会員価格 62,640円 (本体価格58,000円)

B : 後援団体会員価格 66,960円 (本体価格62,000円)

C : 一般価格 71,280円 (本体価格66,000円)

お問い合わせは、

<2日間とも昼食はこちらで用意いたします>

株式会社 CMC

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042 (名義) 株式会社 CMC

振込予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

受講についてのお願い

- ①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁 (枝番数字) を付記してください。
振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
- ⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。
- ⑥ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。
- ⑦諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。

※CMCのホームページからWebでの申し込みもできます